

あとがき

このあとがきを書いているのは11月下旬で、新型コロナの第3波が襲ってきたのに、経済のことを考えてなかなかGo Toを止めにくいという状況にあります(どうでもよいことかもしれませんが、Go To トラベルとか、Go To イートとか変な和製英語を連発していると、日本人の英語力がどんどん落ちてゆくような気がします)。まだまだ従来のリアルな学会は難しい状況ですが、先日臨床眼科学会がWebで無事開催されて、今年の日眼のときよりもノウハウが蓄積されてきているため、結構参加者の満足度は高いように思われます。Web開催ならではの利点もいろいろあって、今回シンポジウムの座長をやったのですが、演者間のdiscussionを、次のセッションを気にすることなく、十分行うことができたのはとてもよかったと思っています。参加者としては、リアル学会だと裏番組になっているものには参加できないのですが、それがいくらかでも視聴できるし、聞き損ねたら何度でも繰り返し見返すことができるのは大変便利です。それと臨眼はインストラクションコースが人気ですが、人数制限があったものが、今回は無制限にいくらかでも参加できるというのも、勉強熱心な先生方にとっては福音であったかもしれません。その代わりに視聴できるものが多すぎて、この「臨床眼科」掲載論文の中核になっている一般講演にまで手が回らないという感じです。視聴できなかった一般講演は、今後掲載される「臨床眼科」の論文でゆっくり勉強していただければと思います。

本号の特集は、水木信久先生に企画いただいた「もう悩まない ぶどう膜炎の診断と治療一達人の診療プロセスを教えます」ということで、苦手意識をもっている先生方が多いぶどう膜炎診療の現状をまとめていただきました。これで「もう悩まない」というわけにはさすがにいかないとは思いますが、力のこもった総説がそろいましたので、ご賞味ください。

(井上幸次)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅義三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭	寺崎浩子	下村嘉一			
編集委員	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	堀 裕一	

臨床眼科 (第75巻 第1号)

2021年1月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%)

(2021 年年間購読料(増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 44,154 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子+電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2021, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為 (複製, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 【JCOPY】< 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- *「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 松井・山本・安部